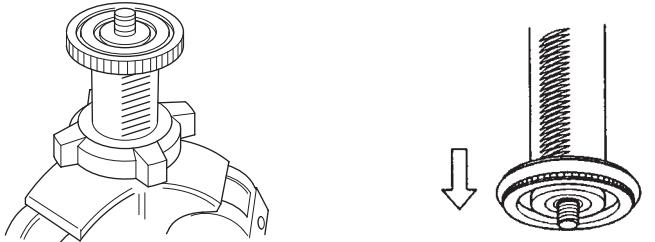


エレベーターの上、下の取り付けネジ



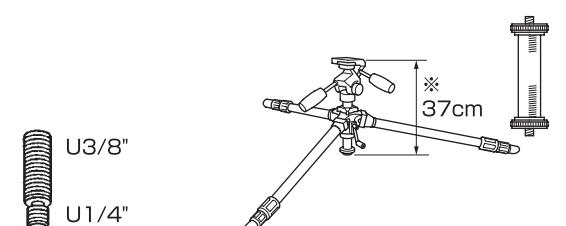
エレベーター上部の雲台取り付けネジは大ネジ(3/8")の固定式です。

エレベーター下部の雲台取り付けネジは小ネジ(1/4")、大ネジ(3/8")の段つきネジになっています。

下部座金、段つきネジを外し、段つきネジを上下反転すれば希望のネジをご使用できます。

エレベーターを上下反転する場合は、別項「エレベーター、雲台受の交換方法」を参照して交換してください。

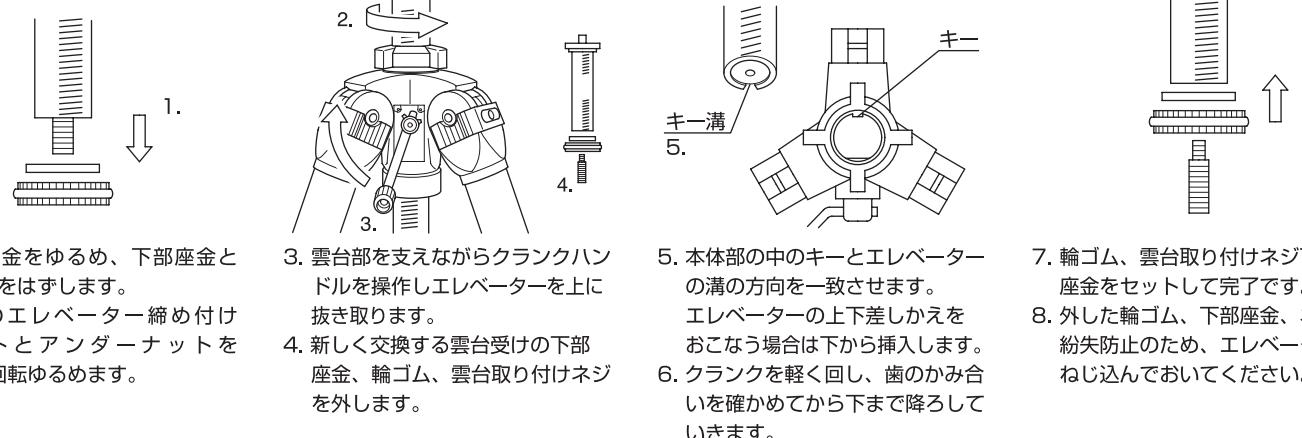
3008雲台受(ローポジション用)



プロフェッショナル2 NSでさらに低い地上高をご希望の場合は、付属の3008雲台受(ローポジション用)を使用してください。最低地上高37cmにできます。

※SH-908雲台使用時。

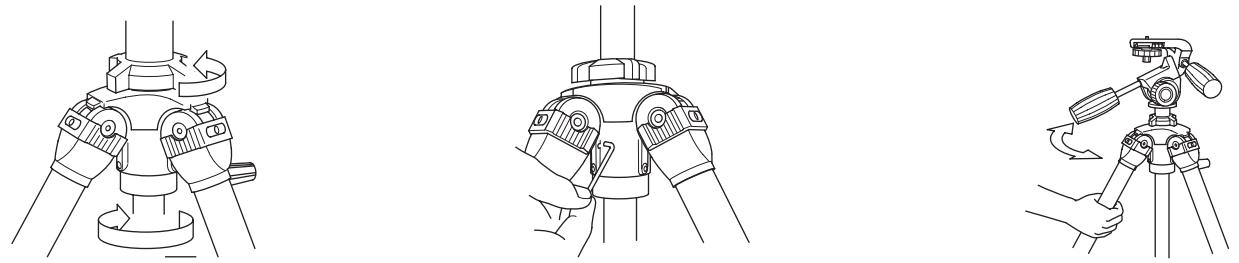
エレベーター、雲台受の交換方法



1. 下部座金をゆるめ、下部座金と輪ゴムをはずします。
2. 本体のエレベーター締め付けナットとアンダーナットを3~4回転ゆるめます。

3. 雲台部を支えながらクランクハンドルを操作しエレベーターを上に抜き取ります。
4. 新しく交換する雲台受けの下部座金、輪ゴム、雲台取り付けネジを外します。
5. 本体の中のキーとエレベーターの溝の方向を一致させます。
6. クランクを軽く回し、歯のかみ合いを確かめてから下まで降ろしていきます。
7. 輪ゴム、雲台取り付けネジ下部座金をセットして完了です。
8. 外した輪ゴム、下部座金、ネジは紛失防止のため、エレベーターにねじ込んでおいてください。

本体キーの調整方法



エレベーターの左右のガタを少なくしたいときは本体キーの調整を行なってください。

※付属品の六角レンチを用意してください。

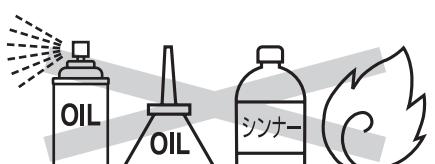
1. エレベーター締め付けナットとアンダーナットをゆるめてください。

2. 六角レンチを図示の穴にさし込み本体キーを締め付けてください。

3. クランクハンドルを操作しエレベーターの上下動きを確認し、さらにパンハンドルを握りエレベーターの左右ガタを確認してください。

4. エレベーターの上下動がちたいときは、本体キーの締め付けを少しゆるめてください。

🚫 禁止



・三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
破損、故障の原因となります。
可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
・火に近づけないようにしてください。
夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

・よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を保有しております。

したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

©2017 SLIK CORPORATION

SLIK®

プロフェッショナル2 NS PROFESSIONAL 2 NS

取扱説明書

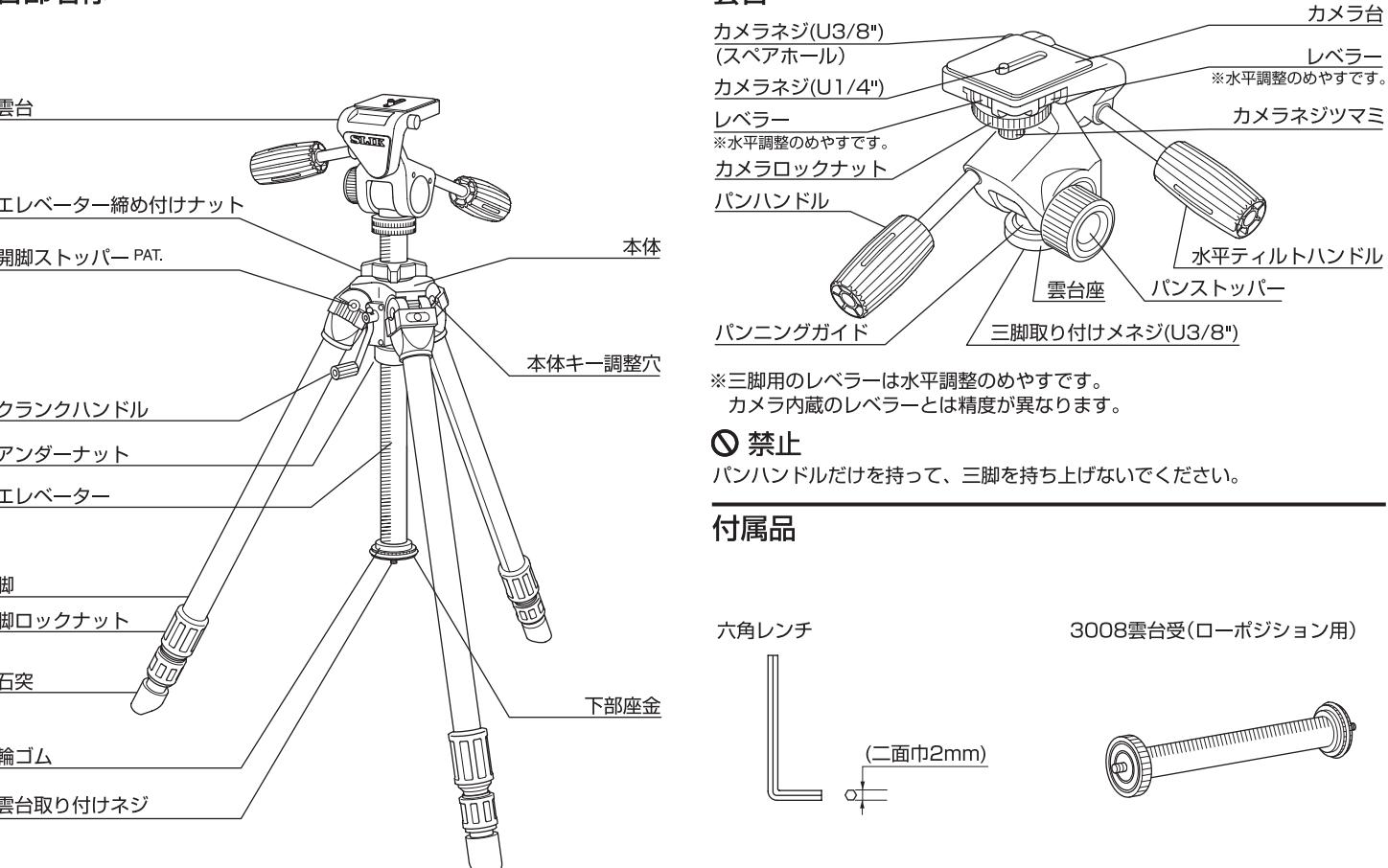
このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。
お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。
脚のみをお買い上げの方は三脚部の説明を中心にお読みください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

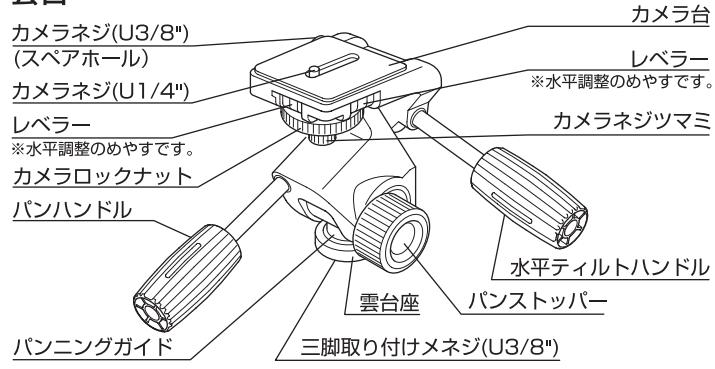
🚫 禁止 このマークは禁止(してはいけないこと)内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

S887

各部名称



雲台



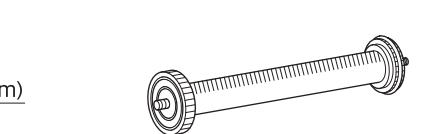
※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

🚫 禁止
パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。

付属品

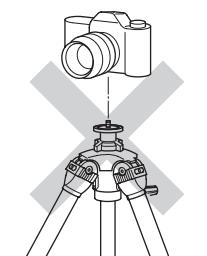


3008雲台受(ローポジション用)



雲台取り付けネジ

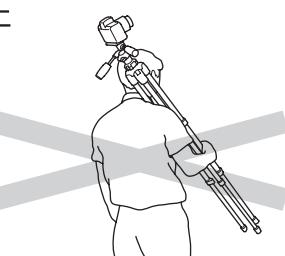
🚫 禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることはカメラの故障の原因になります。雲台などを介してお取り付けください。

持ち運びのとき

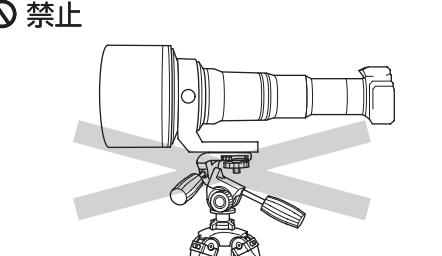
🚫 禁止



カメラは三脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

搭載する機材

🚫 禁止

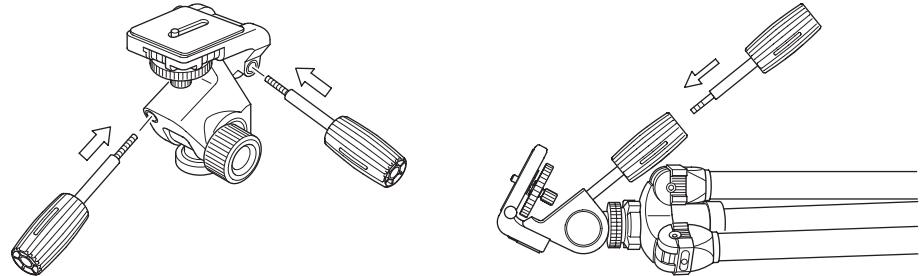


この製品は10kg位までの機材を載せるように作られています。これ以上の機材は載せないでください。
また、10kg以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのような際は、上のクラスの三脚をお使いください。

仕様

縮長	810 mm
全高	1,835 mm
EVスライド	285 mm
質量	4,700 g

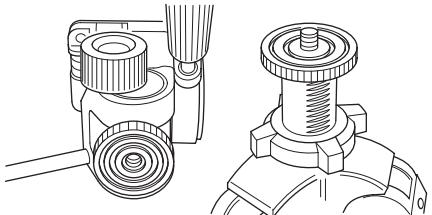
雲台部 パンハンドルの取り付け



雲台に2本のハンドルを取り付けてください。
ハンドルに長・短はありません。
どちらにも取付けることができます。

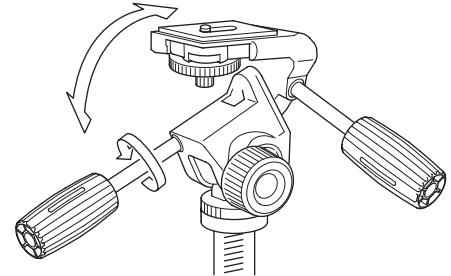
三脚の収納や運搬をする際には
水平ティルトハンドルをパンハンドルの後ろに取
りつけることができます。

雲台と三脚の取り付け

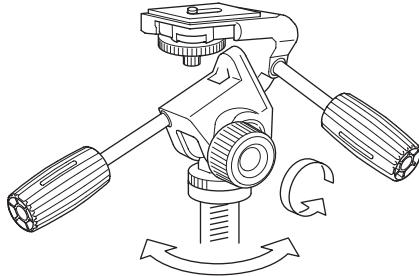


SH-908の雲台と三脚の各取り付けネジは、大ネジ
(U3/8")で出荷されています。
脚のみを単独利用し、他の小ネジ(U1/4")の雲台と
組み合わせ使用したいときは、「エレベーターの
交換方法」を参考にしてエレベーターを上下差し
かえ、ご利用ください。

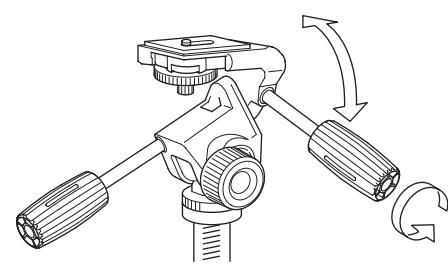
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると前後にティルト
できます。

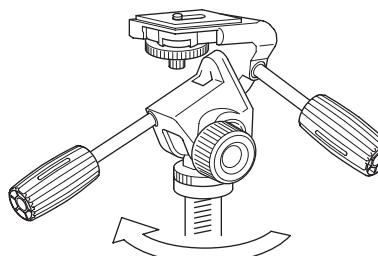


パンストッパーをゆるめると水平に回転できます。



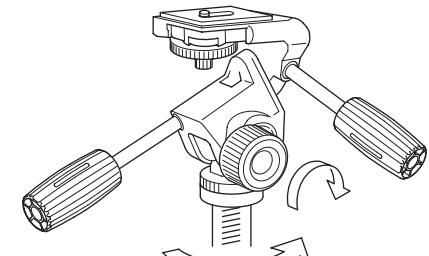
水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節が
できます。
いずれの回転も特殊グリス効果により作動がなめ
らかです。

雲台の取り付け



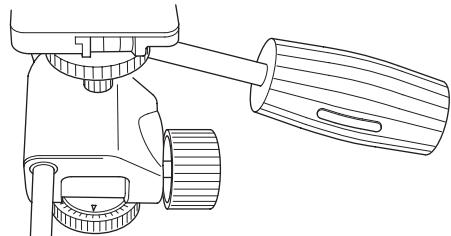
1. パンストッパーをゆるめてから、雲台、三脚のネジを合わせます。
2. ローレットのついた雲台座を止まるまでエレベーターにねじ込みます。
3. パンストッパーを締めこんでからパンハンドルを握って
雲台を時計まわりにきつく締めこみます。
4. パンストッパーをゆるめると雲台は自由にパンニングします。

雲台の取り外し

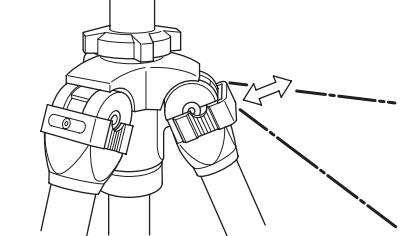


1. パンストッパーをしっかりと締めこみます。
2. パンハンドル、水平ティルトハンドルを握って、力強く反時計まわりに
雲台を回転させます。これで雲台がゆるみます。
3. パンストッパーをゆるめてカメラ台を支え、雲台座だけまわすと
指先のみで雲台が外せます。

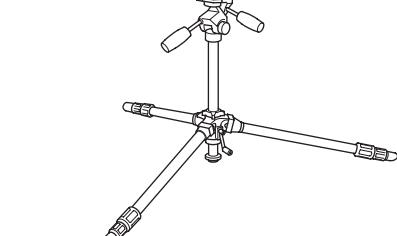
パンニングガイド



パンニングガイドはフリーに回転できますから
指標のラインに0目盛りを合わせると
雲台を希望の角度に正確に回転させることができます。

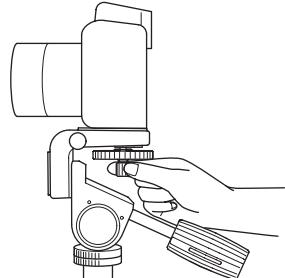


標準の開脚位置から脚を少し閉じるようにして
開脚ストッパーを引き出すと
残りの二つの開脚角度が選択できます。

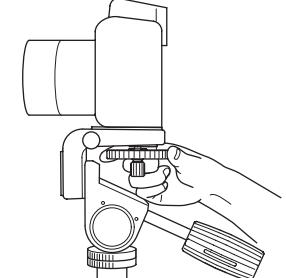


使用角度が決まったらストッパーを決められた
位置まで確実に戻してください。

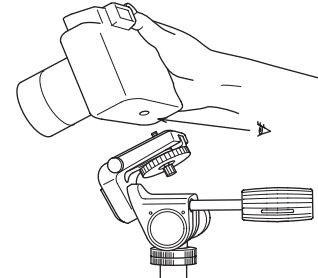
カメラの取り付け



カメラをしっかり支えながら
下側のカメラネジツマミを、ねじ込みます。



次に上側のカメラロックナットで、しっかりと
締め込みます。

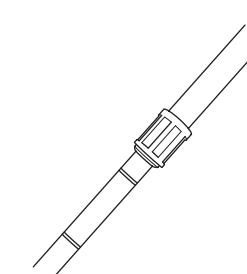


カメラによっては、パンハンドルを操作して
カメラ台の手元をあげると、ネジ部が見えて
取り付けやすくなります。
但しこのとき、カメラはしっかりとホールドして
ください。

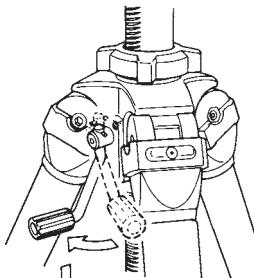
脚の伸ばし方



脚ナットは1/2回転ほどゆるめると下のパイプが
伸縮できます。
溝入りパイプを使用しているので
どの段からでも操作できます。

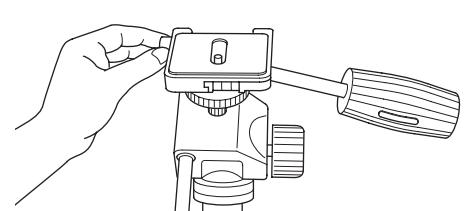


上から2段目のパイプには、10cm間隔で
目盛りが入っています。
脚の長さをそろえる際のめやすにしてください。

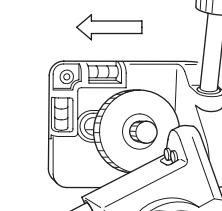


ツマミ部分をつかんでツマミを手前方に
向けてください。
引き下げて使用位置に固定します。

カメラネジの交換

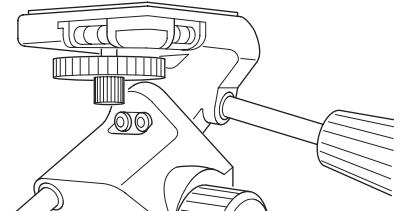


雲台のカメラネジは、小ネジ(U1/4")をセットして
出荷してありますが、大ネジ(U3/8")をお使いにな
る時は、カメラ台左手のスペアホールにセットして
あるものをご利用ください。
はずした小ネジはスペアホールにねじ込んでおいて
ください。



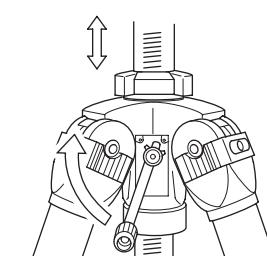
カメラ台のネジは長穴の最後端で外すことができます。
移動、運搬の際のカメラネジの紛失を防ぐためには、
カメラロックナットを利用して、カメラネジをロック
することをおすすめします。

レベラー

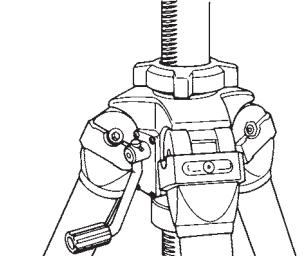


カメラ台の二つのレベラーを利用すると、
水平出しのめやすとすることができます。

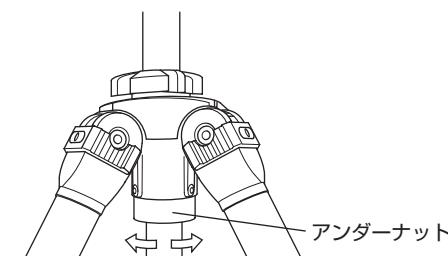
エレベーターの操作



クランクハンドルを操作してエレベーターを
上下します。エレベーター締め付けナットを
締め込むと、エレベーターの作動かたさを調節し
左右ガタを少なくすることができます。

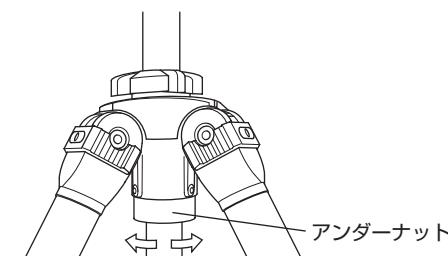


ウォームギヤの採用により、雲台部を上から
押しても落下することはありません。



締め付けナットをゆるめたときのエレベーター
上下かたさを変えたいときは
アンダーナットの締め具合でかたさを調整して
ください。

アンダーナット



締め付けナットをゆるめたときのエレベーター
上下かたさを変えたいときは
アンダーナットの締め具合でかたさを調整して
ください。